

マゴソ通信



5月下旬の早川千晶さんの帰日、そしてスタートするポレポレキャラバンが近づいて来て、主に九州ツアーの調整のアシストやマゴソグッズの流れを計画したり、共に行動してくれる仲間たちに連絡したりと、「懐かしい」忙しさに包まれている。

私は2008年にマゴソスクールと初めて出会ったのだが、その出会いを仕組んでくれた友人を2月に亡くした事もある、近頃様々昔を振り返ることが多く、マゴソスクールとの関わり、マゴソスクールを支える会の立ち上げ等の節目を「懐かしく」思い起こしている。しかしマゴソスクールを取り巻く現状を省みた時、「懐かしさ」に耽っている場合は無いことを肝に銘じたい。

確かに先日マゴソスクールの近所で発生した火事のため緊急に支援が必要になったり（多くのご支援ありがとうございます）、前号で述べたように卒業生の進学支援が必要だったり、もちろんマゴソスクールの教育・給食支援など以前と変わらぬ所もあるが、とりわけこの2年間、この通信でもお伝えしてきているように、卒業生たちがマゴソスクールを支え、育てているに留まらず、キベラスラムそのものの変革、向上に向けて活躍の幅をどんどん広げている。残念ながら一歩届かなかったがオギラ教頭がキベラの代表として郡議会議員立候補に挑戦した。彼ら彼女らが自らの手でマゴソスクールを、キベラスラムを発展させていく段階に来ている。

マゴソスクールの支援のために力を結集することが必要と立ち上げた支える会であるが、今や支える会の枠を超えて、例えば日本の学生たちがOBOGたちとの交流をするために「マゴコロ」というグループを作ったり、ChekaTVがYouTube映像や実際の炊き出しなどで貢献してくれたり、インスタのインフルエンサーが支援に関わってくれたり（それらの映像を見て給食募金箱を新たに設置してくれる人が多い）、アパレルブランド「SHIFT80」がリリアンと協働で商品開発・販売してその利益を還元する仕組みを作ってくれたり、もちろん以前からMISIAが関心を持って様々な活動をしてきている。

私たち支える会もマゴソスクール、マゴソスクールのメンバー、卒業生たちや他の行動に置いてきぼりにされない様に、柔軟かつきめ細やかにかつ力強く「共歩み」ができる様に、力を合わせて行きたい。

誰一人として取り残されない、夢を叶えて行ける世界を共に築いていくために・・・

会長 大城研司

支える会からのお知らせとお願い

- ✔ 2022年4月現在のサポーター数は452名です。
- ✔ ご友人等にご紹介のため、パンフレット・会報等が入用な場合は事務局までご連絡ください。
- ✔ 会報は、会員の方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、皆様に送らせていただいております。会報が重複して届いたり、不要な場合は、事務局までお知らせいただければありがたいと思います。
- ✔ 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- ✔ 会費の領収書は発行しておりませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおりませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- ✔ マゴソスクールへの支援物資は、支える会では受け付けておりません。
- ✔ 皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。未使用切手・未使用はがき・書き損じはがきを事務局までお願いいたします。2022年2月以降289,665円分ものご寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。これらはすべて会報やお礼状などの発送に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

会費・寄付振込先

【郵便局】マゴソスクールを支える会

口座番号: 00810-9-216335

(記号: 00810 番号: 216335)

【ゆうちょ銀行】マゴソスクールを支える会

0八九(ゼロハチキュウ)店

当座 0216335



マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: info@magoso.jp HP: <http://magoso.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/magososupportersclub/>

2021年度が終了し、2022年度が始まった

会報16号でもお知らせしたように、2022年はコロナ禍の影響で、1年のうちに、2021年度の3学期と2022年度1年の教育課程を実施するという変則的な1年となります。2021年度が3月4日に終了し2022年度が4月25日から始まりしました。2021年度末から2022年度開始までについて、早川さんの報告をまとめました。

1. 2021年度KCPEに向けて

3月1日、KCPE全国共通テストにむけて、受験生のためのお祈りの集会がありました。保護者も先生も参加し、家族が一人一人前に出てきて、生徒を励まし、スピーチして、歌を歌い、祈り、みんなで士気を上げていきました。

リリアンは、みんなの心意気を高めて、受験の後もまたさらに高みを目指していけるように励ましました。「マゴソのドアはいつでも開いている。いつでも相談にきてください。」という大きな励ましを生徒たちは受け止めました。

マゴソスクールの受験生たちは家が貧しくて、夕食に食べるものが何もない家も多いです。3日間の高校受験に臨むにあたって、8年生の生徒代表が生徒全員を代表して相談にきました。

受験の3日間に空腹から解放されて試験に集中できるように、食料を8年生全員に提供することにし

ました。砂糖1kg、トウモロコシの粉2kg、料理用の油1リットル、米1kgを全員に配布します。一人当たり600円です。



高校受験終了!!!! おめでとう @Magoso OBOG Generation 15! 🎉
今日が君たちがマゴソスクールの制服を着る最後の日だね 🥲 みんなの未来が明るいことを祈る!

2. KCPE マゴソの歴史上最高の成績

3月28日、ケニア全国、高校受験結果が発表されました。

今年は1,225,507名もの受験生がケニア全土にいました。その中で、500満点中400点以上を獲得したのは、全国で11,000人。マゴソスクールの中に、その全国トップ11,000人に入った生徒がいました! 402点!! 全国トップの428点に比べて、23点しか差がありません。これは大きな快挙でした。

キベラスラムの劣悪な生活環境や、とても厳しい家庭事情の中で、家族を支えながら様々な困難を乗り越えて頑張ってきた生徒たち、今年はマゴソスクールとジュンバラワトトで合計59名の受験生が出ましたが、そのうちなんと、11名が300点以上の高得点を得て、全国でもレベルの高い高校に入学することができます。270点以上では20名を超えました。みんな本当におめでとう!!



3月12日 Magoso OBOG Club ミーティング。高校生、大学生、社会人と、沢山の卒業生が集まって語り合い、先輩が後輩の相談に乗りアドバイスして、意見交換して、みんな元気一杯、活気に満ちていて本当に楽しかった!

3. ファッションショー開催

毎年恒例、マゴソスクールのファッションショー2022が4月3日に開催されました。

ファッションショーはマゴソスクールがはじまった当初から始まりました。リリアンがもともと困窮生活の中、手に職をつけたいと願い、独学で足踏みミシンを操るようになり、ファッションデザイナーになりました。リリアンは自分がつちかった技術を周りの人々に教え、マゴソスクールには洋裁の作業所と訓練所があります。

ファッションショーは、キベラスラムの地域住民にとって年に一度のとても楽しいイベントになっています。ここでみんなが集い、音楽を奏で、歌い踊り、美しい衣装に身を包み、大観客の前でそれを披露します。生徒や卒業生だけでなく、生徒の保護者(両親、祖母、親戚など)も参加し、モデルとなって拍手喝さいをうけます。



ファッションショーの様子は youtube ChekaTV でご覧になれます。



2022年は数多くのスペシャルゲストがマゴソスクールを訪問してくれて、盛り上げてくれました。遠くホマベイから伝統音楽家とダンサーたち、ナイロビや世界でプロフェッショナルなダンサーとして活躍している Nairobi Dance Ensemble のノリーンとスーザン、Kibera Creative Arts の子どもたち、Thika の Moyo Children Centre の子どもたち。ガーナからやってきた Innna Projectt の山口韻奈さんは、Magoso OBOG の一人で美容学校の生徒であるセリーンをアシスタントに、約 100 名の女の子モデルたちのメイクを手がけてくれました。

こうしてマゴソスクールのみんが才能を開花し、毎日をイキイキと生きていくことができるのは、世界中の数多くの仲間たちに応援していただいているおかげです。心から感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。そしてこれからもマゴソスクールの仲間たちに声援を送ってください。

4. Magoso OBOG Club Generation15 高校進学に向けて

4月中旬、G15の保護者会が開催されました。一人一人から話を聞くと、胸が詰まるような想いになります。どれほど貧しく苦しい生活を頑張って乗り越えてきているか、保護者の皆さんの努力にも頭が下がります。そして、そのような厳しい暮らしの中で、上の学校に進学していくチャンスが、いかに光り輝く希望かということがよくわかります。

生活を徹底的に切り詰めて、涙ぐましい努力でわずかなお金を貯金してきた人、その貯金を医療費に使った人。子どもが病気の親を支えてきた家庭もあります。高校に行けた保護者はとても少ないです。小学校も途中まで、貧しい離島出身、田舎には耕す畑もないそういう保護者がいます。一人一人の人生が、まるで小説のような苦労の連続のストーリーです。

保護者の皆さんは一生懸命生きているけど、足りないものは何かというと、お金です。進学を助けるお金の助けさえあれば、あともう一步頑張って、子どもを高校に進ませることが出来て、その子どもたちは、いま目の前にある絶望的な毎日から、もっと広い世界に進むためのチャンスを得ることが出来ます。



この保護者の皆さんは、すべてを助けて欲しいと望んでいるわけではありません。自分たちも貧しい暮らしの中で、精一杯、頑張ろうとしています。保護者の皆さんと共に、手を携えて、力を合わせて子どもたちの進学を助けていきたいです。

今年度は、59名の受験生がいましたが、支援できる生徒は、資金の関係で19名となりました。支援を受けられない生徒は、ショックを受けながらも、来年はもっとよい点数が取れるように、8年生をリピートして再受験することを決意しました。

OBOG支援について

1. セカンダリー4年間の経費（概算）
 全寮制の学校
 4年間で40万円～45万円
 通学制の学校
 4年間で約15万円～20万円
2. 支援の方法
 - ① 一人の生徒を4年間支援
 支援額は上記の金額ですが、ケースバイケースですので、この支援をお考えの方は、早川さんに直接問い合わせてください。
 - ② OBOGサポーター
 生徒を特定せず、定期的に一定額を支えたい会のHPより申し込み
 - ③ 支える会に寄付
 OBOG支援と指定してください。

早川さんへの問い合わせ先
 chiakinairobi@gmail.com
<https://twitter.com/chiakihayakawa0>
<https://www.instagram.com/chiakihayakawa/>
<https://web.facebook.com/chiaki.hayakawa1/>

5. 2022年度開始

キベラスラムでは毎回、休みに田舎に帰っていた子どもたちが、学期はじめはバス代が高騰するためなかなかキベラに帰ってこられない。保護者の皆さんもバス代をゲットするのが大変だから、子どもたちがみんな戻ってくるのは始業式から1～2週間はかかってしまう。

学年はじめなので、PP1(幼稚園年少さん)たちの入学手続きもしています。他の学校からマゴソスクールにチャンスを求めてやってくる保護者もたくさん。

私たちマゴソスクールの運営チームは、高校生たちの学費支払いや新高校一年生の入学手続きのための学校探しなどに奔走。

火曜日と金曜日はジェージの日のマゴソスクール。さあ2022年度はものすごく短い一年になり、11月の終わりまでに一年分のカリキュラムをこなさないといけないので、お休みが全然ありません！！

この前受験だったのに、11月末にはまた受験がやってくるという悪夢！！みんな楽しみながら頑張ろうね～！



2021年 会 計 報 告

【日本側の収支報告】

自 2021年 1月 1日 至 2021年 12月 31日

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2021/01	前年度繰越	7,269,021	2021/01	ケニアへ送金	945,493	
2021/01	1月入金額	530,275	2021/02	ケニアへ送金	11,366	
2021/02	2月入金額	1,552,574	2021/03	ケニアへ送金	2,966,633	
2021/03	3月入金額	1,178,868	2021/04	ケニアへ送金	1,989,616	
2021/04	4月入金額	783,884	2021/05	ケニアへ送金	1,988,411	
2021/05	5月入金額	1,049,077	2021/06	ケニアへ送金	993,011	
2021/06	6月入金額	1,623,018	2021/07	ケニアへ送金	1,992,321	
2021/07	7月入金額	1,919,068	2021/08	ケニアへ送金	2,005,079	
2021/08	8月入金額	969,526	2021/09	ケニアへ送金	1,994,226	
2021/09	9月入金額	2,017,643	2021/10	ケニアへ送金	994,828	
2021/10	10月入金額	1,362,368	2021/11	ケニアへ送金	994,336	
2021/11	11月入金額	1,678,494	2021/12	ケニアへ送金	1,509,734	
2021/12	12月入金額	1,326,409		小計	18,385,054	
				次年度繰り越し	4,875,171	
合	計	23,260,225	合	計	23,260,225	

【日本側収入の内訳】

(単位:円)

	項 目	金 額
収入	前年度繰越	7,269,021
	会費	6,121,518
	一般寄付	5,065,443
	団体寄付	1,000,000
	給食募金	1,729,327
	給食募金(募金箱)	546,916
	特別学級支援	215,000
	クリスマス寄付	184,427
	音楽大会寄付	50,000
	OBOG支援	615,000
	グッズ売上	463,544
	利子	29
	総収入	23,260,225

会費の納入をよろしくお願ひします！！

納入に便利な以下の方法もございます。

◆郵便貯金口座をお持ちの方は「郵便局自動送金サービス」ご利用いただけます。月額のみご利用頂けます。郵便局にてご自身で手続きをお願い致します。

<送金先口座情報>

加入者名：マゴソスクールを支える会

口座番号：12230-33000581

◆クレジットカード

ご利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardで、「日本円」でのご請求となります。HPよりお申込みいただけます。各コースをクリックし、登録ページ(テレコムクレジット株式会社)へお進みください。お間違いのないようお願いいたします。

納入方法を変更された場合は、事務局までお知らせください。

自 2021年 1月 1日 至 2021年 12月 31日

(単位:ケニアシリング)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2021/01	前年度繰越金	-18,899		マゴソ職員給料	5,763,600	
2021/01	支える会から送金	990,000		マゴソ職員福利厚生	445,439	
2021/02	支える会から送金	10,032		マゴソ給食費	4,152,400	
2021/03	支える会から送金	2,920,517		マゴソファミリー生活費	764,400	
2021/04	支える会から送金	1,960,000		ジュンバラワトト経費	1,934,731	
2021/05	支える会から送金	1,930,000		マゴソ建設費	2,394,540	
2021/06	支える会から送金	960,000		特別学級	135,000	
2021/07	現地での募金	46,375		マゴソグッズ経費	1,571,527	
2021/07	支える会から送金	1,940,000		コロナ禍その他支援	1,027,342	
2021/08	支える会から送金	1,980,000		個別支援	1,235,351	
2021/09	支える会から送金	1,980,000		文房具・教科書・試験費用	806,430	
2021/10	支える会から送金	960,000		その他	177,286	
2021/11	支える会から送金	970,000		手数料	5,640	
2021/12	2支える会から送金	1,480,000		小計	20,413,686	
	現地商品売上	166,000		次年繰越	-2,139,661	現地立替
合	計	18,274,025	合	計	18,274,025	

